土木学会地震工学委員会

耐震基準小委員会　第 42 回委員会議事録

1. 日時：平成 21 年 11 月 6 日　13:00～16:30
2. 場所：土木学会 E 会議室
3. 出席者：

○中村晋	×有賀義明	○今村年成	○江尻譲嗣	×片岡正次郎
○北原武嗣	×工藤富士樹	○小西康彦	×堺　淳一	×澤田純男
×菅野高弘	○砂坂善雄	×当麻純一	×飛田哲男	○本田利器
×中島正人	○長尾　毅	×中島章典	×中島正人	×中山　学
×西村和夫	×野津　厚	×三輪　滋	○室野剛隆	×森伸一郎
×吉田　望	×渡邊忠朋	○酒井久和	（敬称略）	

以上 10 名

資料 42-1　耐震基準小委員会の今後のあり方について

資料 42-2　耐震基準小委員会／ガイドライン活動報告

資料 42-3　統合ガイドライン準備 WG 議事メモ

内容

１．耐震基準小委員会の方針，計画（資料 42-1　中村委員長）

・小委員会の今後の方針の説明

・４WG 構成

・WG の委員を基本的に耐震基準小委員会のメンバーとして参加していただく．

２．新委員自己紹介

３．ＷＧ活動報告，計画

（１）耐震設計法ガイドライン WG（本田委員，室野主査）

・地震安全度のロジックの明確化

（２）設計事例集 WG（中村委員長）

・ギリシャ，サントリーニでの会議において，日本以外の事例を集めた方が良いとの指摘を受けた．

・先月，CD 作成のための会議を集中的に行った．

（３）認証機関 WG（北原委員）

・電中研，土研に事例提供を依頼．未回答．

――＞事例待ちではなく，認証機関や発注者側などの調査などを行い，まず検討事項を抽出する必要がある．

例えば，下記のような事項が挙げられた．

・学会で認証を受ける際の窓口の設置

・実際の設計が各事業者の基準に従うなかで，どの部分の認証を行えるのか.
（入力動の認証が候補）

（４）標準化 WG（中村委員長）
・学会としてガイドライン，指針等を標準化（authorize）する基本的考え方，方法，手順を議論する.
・他学会の動向，社会の期待との整合性の検討.

４．話題提供
長尾委員：「地震安全および第三者機関による評価の考え方など」
港湾施設における性能設計化（要求性能，地震動など），認証機関による評価（システム，内容）についての説明があった.

５．その他
・認証機関 WG と標準化 WG を統合する.
・WG 主査，副査による幹事会を開催する.
・土木学会委員会支援ツールを資料の配布，データの共有等で活用する．詳細は後日，酒井から連絡.
・WG は議事録を工藤幹事（kudou-f@hozen.or.jp）に送付する.
・次回の委員会の候補日として，3 月 8 日か 9 日．話題は水道の耐震設計指針の改訂について，小西委員が話題提供者に打診.（予備，室野委員による鉄道の耐震標準改訂について）